

山田学区
社協だより

第84号
発行
山田学区
社会福祉協議会

今年度の「医療福祉を考える会議」が十月三十日「えんゆうの郷」で開催されました。八月の開催予定が台風のため順延になっていました。

今回も前年度に引き続き「在宅医療・介護における駐車場問題を糸口に、これからも増えるであろう在宅サービスを考え、出

来ることから行動を起こそう。」と市内の学区ごとに取り組みが進められている【ピカッと草津】について考え理解を深めました。

学区内のまち協役員、町内会長、老人クラブ会長福祉委員、民生委員や地域サロン代表等の参加を頂きました。事業所や市役所等、関係者を含め四七名が会しました。

市社協から、「医療福祉を考える会議」での取り組みや成果の紹介、そして今回の課題は、在宅サービス時の駐車場を確保するのが最終目的ではなく、住民同士が寄り添いながら暮らせる、温かみのある



ピカッと草津

医療福祉を考える会議

訴えがありました。訪問サービスの駐車場問題は、単に事業者の困りごとだけでなく私達がサービスを受けられなくなる事を意味し決して看過できない課題です。

五グループに分かれて感想を述べ合ったのち、前年度の参加者で作成された特大の地図を前に許可が得られた駐車スペース等の確認と新たな候補地を探

地域づくりを目標

指す活動ですと

熱い思いで訴え

がありました。

引き続き居宅

介護支援事業所

「きらら」さん

から訪問サービ

ス時の車止めの

実態を様々な例

を挙げて報告が

ありました。

さらに学区社

協からもこの課

題に取り組むこと

の目的について

しました。

最後のワークショップとして【誰もが安心して住

み続けられる地域にしていきたいために、私たちが

出る事についてアイデアを出し合いました。

この日の会議では

◆在宅ケアは他人事ではなく、我が事！ 再認識し

ました。

◆近所同士で声掛けをすることが大切。

◆地域の理解や支え合いがあることで、住み慣れた地域で生活できる。

◆学区や地域の問題をみんなで考えようという姿勢が良い！ 効果も出てきている。

◆このような会議の場があることが素晴らしい。など感想が寄せられました。



特大地図を囲んで

熱心な議論が



ひとし暮らし高齢者日帰りバスツアー



七月一日(月) 総勢三十七

名、草津市福祉バスに乗り込み
京都・嵐山「花のいえ」に向か
いました。途中から雨に降られ
ましたが、渡月橋や小倉山も間
近に見え旅行気分は申し分あり
ませんでした。大広間での昼食

は美しい京懐石、おしゃべりも弾み、心も体も満た
されました。いち段落すると大浴場でくつろぐ方、
手入れの行き届いたお庭を散策する方、お土産を探
す方などなど…それぞれの楽しみ方でお過ごしいた
だきました。「来年も一緒に行こうね。」とか「楽し
かった。」というお声も聞け「最後は親しくなった



皆さま方全員でにっこり記
念写真を撮り「花のいえ」
を後にしました。車中、久
泉副会長から「今日はあい
にくの天気でしたが『心は
日本晴れ。』来年も笑顔でお
会いしましょう。」との挨拶
で解散となりました。



案内チラシの配布等で、各町の
お一人暮らし高齢者さまのお宅を
訪問してくださった福祉委員の皆
様方に感謝します。有難うござい
ました。

キラキラキッチン/やまだっ子



七月二十日(土)今
年度第一回目とな
る「さあ〜夏休み
だ! キラキラキ

ッチンやまだっ子にしよう」
を、実施しました。学区社会福祉

協議会、学区民生委員児童委員協議会、学区健康推
進員の共催による開催です!メニューは、”自分で
つくろう。”「にぎりーず」と「バナナケーキ」で参
加者は小学生二十六名、保護者五名、スタッフ十七
名の総勢四十八名でした。グループは五班で編成!
健康推進員の田淵さんから、紙芝居風にイラスト
入りのブックで「調理の手順や注意事項など」を聞
き、さあ〜調理開始です。

まずは、バナナケーキに挑戦だ!

貴生川社協等と交流会

が食欲をそそります集会室で、みんなで食べ、楽し
い時間となりました。
クッキングを通して子ども達と会話もでき、触れ合
えるひと時でした。



次は、「にぎりーず」です!
豆腐の入れ物にご飯を入れ、
好きな具材をどんどんのせ、
のりで包み込み、二つに切り
開けると完成!「とってもき
れいにできた〜」「おいしそ
う!」と赤・黄・緑の色合い

七月六日(土)午前九時半、甲賀市貴生川
地区のまちづくり協議会、民生委員児童委
員協議会、社会福祉協議会、市の職員さん
たち一七名と山田学区社協の役員四名とで
交流しました。自己紹介の後、互いにそれ
ぞれの代表から地域の様子や活動の紹介が
ありました。「やまだカフェ」のご協力で
美味しいコーヒーをいただきながら交流し
ました。交流会は互いの活動内容や苦労話
に話題は尽きず、予定時間を超えてお昼を
過ぎての懇談となりました。

南山田

ほのぼのサークル南山田



平成十一年に老人会内で「みんなの体操」を始めてから二十五年目を迎えています。

現在の参加者はスタッフを含めて十三名です。毎週水曜日に、「いきいき百

歳体操」と「口からこん

んでは体操、そのあとに脳活ゲームをして楽しんでます。認知症の予防には、楽しく笑い合

って頭の血の巡りを活発にすることが良いらしく、「認知症予防ゲーム」の他に、折り紙、合唄、あやとり、最近では、ハンドベル、オカリナ、ルービックキューブなども取り入れています。

高齢の参加者が九十歳を超える頃になると会館まで出向くのが億劫になるように、これまで参加



山田学区の地域サロン紹介

陽ノ丘

ふれあいサロン陽ノ丘

してくださっていた方の笑顔が見られなくなるのも、やむを得ないことかなあと思ったりしています。これからも誰でもが集える場を維持して、家に閉じこもりがちになる方たちが気軽に参加できるようにと考えています。



ほのぼのサークル南山田代表

馬場喜代廣

今年毎日暑い日が続きました。中症が心配されましたが、私達の仲間は無事にのり越えました。私達のサロンは市営、県営、分譲と三つの範囲でな



りたっています。気楽に自分達で出来ることをしています。包括センターの方達には介護健康・福祉の事など色々教えて頂いています。警察の方には詐欺の話や交通安全について話していただきました。私達の仲間の中には手術を何回もされても元気な人や、認知症の方、聴覚障害の夫婦や



身体が不自由な人、皆で力を合わせて頑張っています。時には手話を教えてもらい皆で手や身体を使って話をします。指の使い方が大変難しいです。毎月皆さん楽しみにして頂いています。お茶をしたり、弁当をいただいで和



んでいます。これからも皆と力を合わせて、新しい仲間を増やして頑張ります。永くサロンが続くように応援お願いします。ふれあいサロン 陽ノ丘代表 植西小雪

山田学区 賛助会員の紹介

令和6年年度も草津市福祉協議会賛助会員の募集をさせていただきました。

山田学区では二七社(団体)の皆様からご協力をいただきました。この会費は草津市社会福祉協議会の活動に有効に活用させていただきます。

ここに、山田学区の賛助会員のみなさまをご紹介します。厚くお礼申し上げます。

(敬称略・順不同)

- ・(株)アヤシロ
- ・島根中井工業(株)ナカイテクノ
- ・(有)横江製作所
- ・相撲ちゃんこ 大岳
- ・(株)光真製作所
- ・(株)アグリケーション
- ・藤田工務店(株)
- ・福盛教材(有)
- ・浜口商店
- ・ワークパートナー きらら 北山田
- ・中野製菓製造(株)
- ・園田瓦店
- ・(株)久泉エンジニアリング
- ・(有)馬場自動車
- ・(有)馬場工務店

福祉講座を開催しました



講師の森本 清美先生
えんゆうの郷にて

- ・(株)テクノオーミ
- ・膳所木材工業(株)
- ・山一産業(株)
- ・(有)久保水道
- ・西本電気工事(株)
- ・(有)馬場建設
- ・平井自動車工業(株)
- ・佐山水道工業(株)
- ・岡田茂吉研究所
- ・木川営農組合
- ・特別養護老人ホーム えんゆうの郷
- ・司法書士 横江亨彦事務所

久保水道様
使用済み切手の収集
ありがとうございました。



以上

自分らしく煌めいて生きる

◆素敵に高齢期を生きる◆

滋賀県介護支援専門員

連絡協議会監事の森本清美先生を講師にお迎えして右記のテーマでお話しいただきました。森本先生はケアマネジメントの中で多くの



高齢者や様々な専門員との繋がり、豊富な経験をお持ちです。今回は森本先生のご経験から「高齢期の生き方」について考えるきっかけになればとお話ししてくださいました。平日の午前中と多忙な時間帯でしたが、福祉委員、町会長や老人会、地域サロンなどから三十八名の参加をいただきました。

参加者からは、「避けられない死を受け入れる事ってできるのでしょうか。」「本当に毎日の出来事ばかり。人とのつながり、自分をもっと褒めるようにしたいです。お話を聞いてよかったです！ありがとうございます。」「大変になりましたが、参加して良かったです。ありがとうございますように心掛けようと思います。」「などの質問や感想が出されています。